



岡山フルートの会会報

2007年2月号 第96号

寒さが一番厳しい頃となりました。インフルエンザや風邪などにも気をつけたい時期ですね。演奏会に向けて練習も毎週、本格的になってきています。寒さに負けず、一緒にフルートを吹いて、心も体もあたためましょう。

中桐理江・天本裕子デビューリサイタル
フルート：中桐理江 ファゴット：天本裕子
日 時：3月2日（金）19：00 開演 入場料 1,000 円
場 所：倉敷公民館
曲 目：ソナタ（グリカ） ハンブルガーソナタ（C.Ph.E バッハ） トリオ（ヴィヴァルディ） 他

倉敷舞台芸術公演「バレエ&オーケストラの饗宴」
日 時：3月21日（水・祝）14：00 開場 14：30 開演
会 場：倉敷市民会館ホール
料 金：S席 5,000 円 A席 4,000 円 B席 3,000 円 学生席 1,000 円
演 目：ドリープ／「コッペリア」より チャイコフスキー／「白鳥の湖」「くるみ割り人形」
「眠れる森の美女」より ミンクス／「ドン・キホーテ」より グラン・パ・ド・ドゥ
ムソルグスキー[ラヴェル編曲]／組曲「展覧会の絵」（全曲）
指 揮：堤俊作 オーケストラ：倉敷管弦楽団
チケットセンター：086 - 434 - 0010
会員の小池薫さんと宮尾紀紀さんが出演します。

♪ 星っさんコーナー（その18）

「岡山県アンサンブルコンテスト」を聞いて

星島明郎

今年も1月6日から3日間「全日本アンサンブルコンテスト」の予選を兼ねた「岡山県アンサンブルコンテスト」が倉敷市芸文館で開催された。参加団体数162という大変な盛況だった。昨年は審査員として、採点とアドバイスに取り組んだ忙しい3日間でしたが、今年は審査を離れて自由な立場で聞くと、いろいろ考えさせられる事が多かった。大変ハイレベルな演奏も多く、残念ながら代表に選ばれなかった団体の中にも、中国大会、あるいは全国大会で審査してもらいたい演奏もかなりあった。

それにしても、このコンテストの審査実施規定は、中・高・大・一般それぞれの部門が、3重奏から8重奏までならどんな組み合わせでも良しとするもので、分類があまりにも大ざっぱ過ぎ、審査する方もされる方も困惑する事が多くあるのではないだろうか。ちなみに岡山県高音研主催の「山陽学生コンクール」は、現在は木管・金管・打楽器・弦楽器の4部門に分かれているが、かつては管楽器部門と弦楽器部門だけのこともあり「ピッコロとチューバを比べる言うても比べられるかー」と言った審査員が居たが、まさに今回は「フルート3重奏と、金管8重奏や打楽器8重奏とが比べられるかー」と言いたくなるようなコンテストだった。結果についていろいろ話題に上っているようだが、審査員には罪はない。全日本のコンクールを考える人たちが改善していかなければならない問題だろう。

少なくとも木管・金管・打楽器を別々の部門とすると、アンサンブルの基本であるカルテットまたはクインテットまでにする位の英断が必要だと思うのだが、いかなものだろう。

【会報の封筒詰めのお知らせ】

3月号の会報の封筒詰めを、3月6日（火）午後7時から長谷川楽器店3階ホールで行います。
会員の皆さまには、是非、封筒詰めのお手伝いをお願いします。

